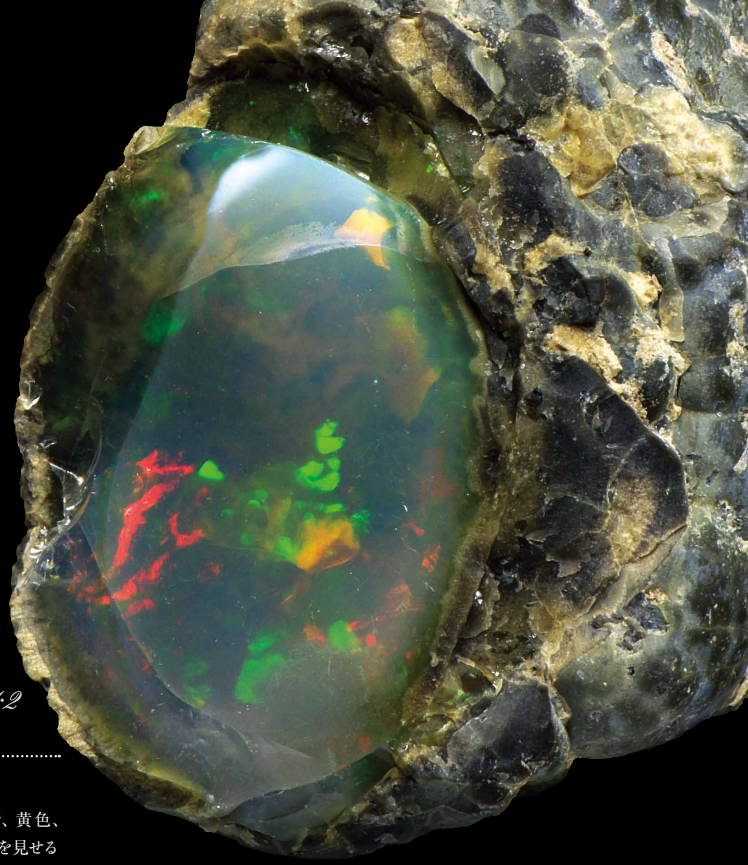


02-1·2

オパール

[上／02-1] 緑、青、黄色、赤の鮮やかな遊色を見せるプリシャスオパール（貴蛋白石）。透明なため、内部深くで揺らめく色彩の炎が見てとれます。

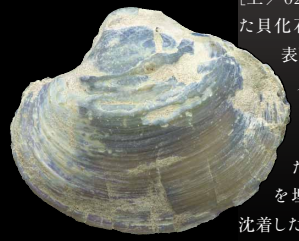
●福島県西会津郡宝坂産
●径約4cm
●GSJ M 16618

[下／02-2] 流紋岩中の球顆の空隙を満たして産出したコモンオパール。空隙の形状は算盤玉状であることが多く見られます。ほとんどのオパールは濁った白色を示しますが、一部に透明感に優れた部分もあります。

●福島県西会津郡宝坂産
●左右長6cm
●GSJ M26254

02-3·4

オパール



[上／02-3] オパール化した貝化石。二枚貝の貝殻表面の輪肋が鮮明に見えることから、炭酸カルシウムの殻が選択的に溶解した後に、その空間を埋めてオパールが沈着したことがわかります。

●オーストラリア産
●左右長4.2cm
●GSJ M21395

[下／02-4] 灰色の盛り上がりがオパール質の沈殿物、珪華です。シリカに飽和した沸騰泉が間欠的に噴き出すところでは、珪華の成長速度が速くなります。シリカの供給と水の蒸発が交互に起きるためです。

●米国ワイオミング州イエローストン国立公園